

景 観 計 画 書
(旧岩崎庭園景観形成特別地区における建築物の建築等)

当該行為における景観形成に関する考え方	
記載欄	
(1) 配置	
<input type="checkbox"/>	隣地間隔や隣棟間隔を十分に確保し、庭園からの眺望の開放感を阻害しないようにする。また、周辺のまち並みに配慮した配置とする。 記載欄
<input type="checkbox"/>	敷地内に庭園の築造と関係のある歴史的に重要な遺構や残すべき自然などがある場合は、これらを活かした建築物の配置とする。 記載欄
(2) 高さ・規模	
<input type="checkbox"/>	庭園内部の主要な眺望点や不忍池からの見え方をシミュレーションし、庭園からの眺望を阻害する高さや規模とならないように配慮する。 記載欄
<input type="checkbox"/>	庭園外周部と隣接している敷地においては、庭園外周部の樹木の高さを著しく超えないようにする。 記載欄
(3) 形態・意匠・色彩	
<input type="checkbox"/>	建築物全体及び隣接する建築物等との形態のバランスを検討し、特に庭園景観の背景としてふさわしい落ち着いた意匠とする。 記載欄
<input type="checkbox"/>	長大な壁面を生じさせないようにし、壁面を分割するなど、庭園や不忍池からの眺望に対して、圧迫感を感じさせないようにする。 記載欄
<input type="checkbox"/>	窓面の内側から広告物等を庭園に向けて表示しない。 記載欄
<input type="checkbox"/>	不忍通りに面する建物の低層部は、業務・商業・文化施設の用途に供し賑わいを感じられる演出を図る。 記載欄

<input type="checkbox"/> 屋根や建物の上層部は突出した形状を避け、庭園外周部の樹木のスカイラインと調和したものとする。 記載欄
<input type="checkbox"/> 建築物等の色彩や素材は、次の事項に適合するとともに周辺との調和を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・外壁の素材は、耐久性があるものを使用し、光沢があるものは控える。 ・地域で親しまれている色彩（別表参照）の活用に努める。 ・外観の色彩は、別表に定める基準に適合するものとする。 記載欄
<input type="checkbox"/> 建築物に附帯する構造物や設備等は、建築物本体と調和を図り、庭園からの眺望を阻害しないものとする。 記載欄
(4) 公開空地・外構・緑化等
<input type="checkbox"/> 夜間の景観を検討し、過度な照明を庭園側に向けないようにする。 記載欄
<input type="checkbox"/> 庭園内の重要な樹木及び湧水等に悪影響を及ぼさないようにする。 記載欄
<input type="checkbox"/> 屋上緑化や壁面緑化を行い、都市における緑の創出に積極的に寄与する。 記載欄
<input type="checkbox"/> 敷地外周部は緑化を図り、庭園の緑との連続性を確保し、潤いのある空間を創出する。 記載欄
<input type="checkbox"/> 緑化に当たっては、庭園樹種と同一性のある樹種の選定を図る。 記載欄

上記以外で特に景観に配慮した事項